

～乳児期のより健やかな育ちのために/ドロシー・マーレン氏初来日～

“赤ちゃんや歩き始めのお子様と
一緒にご参加いただくワークショップ”

2015年6月14日(日) 10:30-12:00

ごく幼い子ども達の育児期間中に直面する難しさに焦点をあてた、親御さん向けのワークショップです。何よりも大切なこの子育てという任務を、よりシンプルに、より過ごしやすく、そして喜びに満ち溢れたものにするための主要な3つの方法をお伝えします。幼児期の子ども達との良い愛着(アタッチメント)の形成方法や親子関係の築き方、子ども達の自然な動きや遊びの発達を促す方法、そして毎日の習慣と日常生活における環境がなぜ決定的に重要なのかについて見ていきます。ワークショップの内容はルドルフ・シュタイナー博士の洞察と、エミー・ピクラー博士とピクラー研究所(ハンガリー)の実践における叡智に基づいています。

場 所：六甲勤労市民センター

JR/六甲道駅南接・阪急/六甲駅から南へ徒歩8分・阪神/新在家駅から北徒歩6分

参加費：当日払い 2500円 (託児：500円)

定員： 親子20組(大人のみの参加の場合、10名募集)

申込先：レインボーサークル df9wp7@bma.biglobe.ne.jp (雑賀)

締切：2015年6月11日(木)

お名前・ご住所・お電話・メール・お連れになるお子様のお名前と月齢(3歳以上託児有・定員6名)

託児のお子様をお連れになる場合、追って持ち物等のご連絡をいたします。

[講師] ドロシー・マーレン

エミー・ピクラーUK 協会の創設者・
シュタイナー教育による誕生から3歳までの
子どものワーキンググループの代表、
20年前からイギリス・ヨークで、シュタイナー
教育に基づく乳幼児の親子支援を行う。
エミー・ピクラーの手法※による親子支援グループ
および保育士のための乳幼児期のトレーニングコースを運営。



※エミー・ピクラーの手法(エミーピクラーアプローチ)

ハンガリーの小児科医師エミー・ピクラー(1902-1984)は乳児発達初期からの運動発達を子どもの自由な動きを妨げずに支援する方法を提唱した。子どもが何かをできるようになる前にその動きを手伝わずに、それを待つという保育の方法。まだ座れない子どもに座位の姿勢を取らせたり、手を持って歩かせたりしないなど、子ども存在への尊重と尊厳をもってケアを行うことを重視する。

主催：レインボーサークル